

設備調達セミナー

～ いまの時代に即した設備調達ノウハウの習得 ～

開催日時

2026年 7月22日(水)
2027年 1月22日(金)

大阪会場

オンライン選択可

オンライン

各回とも 10:00～16:30

対象

- ・購買・調達部門の方
- ・設備調達に関係する方

講師

牧野 直哉 氏
未来調達研究所(株) 取締役

参加料(税込)

法人会員：60,500円/1名
会員外：71,500円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

近年、旺盛な設備投資意欲に調達部門は直面していますが、長らく継続した設備投資機会の減少によって、**設備導入にともなう調達ノウハウ**が失われつつあります。設計・現場部門があらかじめサプライヤーを決めてしまい、設備導入の遅延を避けるために予算オーバーにも関わらず「やむを得ず」注文書を出している実態があります。調達費用の妥当性が検証できないという課題を抱える方も多いのではないのでしょうか？

そこで本セミナーではいまの時代に即した設備調達のノウハウをわかりやすく解説していきます。設備調達の考え方を学びなおしたい方、従来から続けてきた手法をアップデートしたい方のご参加をお待ちしております。

本セミナーのポイント

- (1) 現在の設備調達環境を理解する
- (2) 設備調達のセオリーを押さえる
- (3) 設備調達の課題と解決方法を理解する
- (4) 購入要求部門とのあるべき連携を理解する
- (5) 調達・購買部門として設備サプライヤー選定方法を確立する

参加者の声

- ・自社特有の問題と思っていたが、他社も同様の悩みを抱えていることがわかり、まだまだ工夫の余地があると感じた。
- ・製品知識の必要性や見積明細の活用など、具体的に分かりやすく説明いただき整理する事ができた。
- ・設備担当としてやるべきことが明確になった。わかりやすくハキハキとした口調で集中を切らさずに受講できた。
- ・事例を用いての説明は、実際の経験と類似しており、大変参考になった。
- ・Q&Aでは行き詰っていた疑問に対して回答いただき、自身がまだまだ考え切れていないことを実感しました。

■ プログラム

10:00～16:30 [昼食] 12:00～13:00

1 設備調達とは？

- ・設備調達定義
- ・設備調達と直接材・間接材調達の相違点
- ・設備調達の問題点と今日的課題

2 設備調達のポイントと実践

- ・設備投資目的の明確化
- ・現行設備の現状把握～問題・課題のあぶり出し／発注実績のデータベース化
- ・購入仕様書の作成
- ・発注先候補選定
- ・見積依頼
- ・見積査定
- ・サプライヤー選定方式

- ・契約管理
- ・納期管理（立会検査）
- ・設備稼働（初期）管理
- ・稼働後フォロー（運用管理）

3 設備調達実践事例

講師がコンサルティングの現場で培ったさまざまな実例と、どのように解決へ導いたのかを、惜しみなくお伝えします

- ・ **Case1** 汎用的設備購買のとき
- ・ **Case2** 仕様書が書けないとき
- ・ **Case3** 1社購買サプライヤーのとき
- ・ **Case4** 購入要求部門と調達・購買部門のコラボレーション
- ・ **Case5** 設備サプライヤーとの関係性構築法

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

